

(技術名) 宮古地域の生食用パイナップルにおける花芽誘導処理を用いた収穫期の拡大							
(要約) 宮古地域のパイナップル栽培において、「ゴールドバレル」、「サマーゴールド」、「ソフトタッチ」、「ボゴール」および「沖農P17」の各品種は、11月上旬の花芽誘導処理と自然夏実を組み合わせることで5月下旬から8月中旬まで高品質果実を収穫できる。							
沖縄県農業研究センター・宮古島支所					連絡先	0980-72-3148	
部会名	果樹	専門	栽培	対象	パイナップル	分類	指導
普及対象地域							

#### [背景・ねらい]

宮古地域における果樹栽培では露地で生産できる品目が求められており、気象災害に強いパイナップルが期待されている。本地域はパイナップル栽培に適さないと言われる弱アルカリ性の島尻マージが広く分布するため、これまで栽培試験等はほとんど行われてこなかった。しかし、一部地域では酸性土壌が分布しており既に経済栽培が行われているため、パイナップルの品種特性や栽培管理技術に関する早急な情報提供が必要とされている。また観光客の増加に伴い、長期間果実を供給できる体制が望まれている。

そこで本研究では、花芽誘導処理技術を用いて宮古地域のパイナップル栽培における収穫時期や果実品質について明らかにする。

#### [成果の内容・特徴]

1. 10月および11月上旬に花芽誘導処理を行うと処理から収穫までの日数は、「ゴールドバレル」、「サマーゴールド」、「ジュリオスター」、「ソフトタッチ」、「ボゴール」の5品種は202～226日と処理後約7ヶ月、「沖農P17」は230～249日と処理後約8ヶ月で収穫できる(表)。
2. 「ゴールドバレル」、「サマーゴールド」、「ソフトタッチ」、「ボゴール」、「沖農P17」の11月上旬および自然夏実と「ジュリオスター」の自然夏実において、糖酸比が18.0以上かつ食味点数が3以上の高品質果実が収穫できる(表)。
3. 品種および花芽誘導処理を組み合わせることで、5月下旬から8月中旬まで収穫期を分散させながら高品質果実が収穫でき、長期間の果実供給が可能となる(図)。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 宮古地域のパイナップル導入の際における品種や作型の組合せの指導資料とする。
2. 夏植えマルチ栽培で試験を実施し、その他の管理は沖縄県果樹栽培要領に準じた。
3. 花芽誘導はエテホン1,000倍と3%尿素の混合液を午後3時以降に処理した。
4. 植付け前に土壌pHを調べ、酸性土壌に植付ける。

[具体的データ]

表. 各品種の促進夏実と自然夏実における収穫時期および果実特性(2014~2015)

品種	処理区	出蓄率 (%)	調査 個数	収穫時期			処理から収穫 までの日数	果実重 (g)	糖度 (°Brix)	酸度 (%)	糖酸比	食味 <sup>1)</sup> (1~5)
				始め	平均	終わり						
N67-10	10月上旬	86	36	5/29	6/29	8/6	271	1079	14.6	0.78	19.9	2.8
	11月上旬	95	39	6/24	7/11	7/30	251	1211	15.1	0.65	24.2	2.5
	自然夏実	90	37	7/6	7/22	8/11	—	1153	14.9	0.74	21.7	2.9
ゴールドパレル	10月上旬	93	38	4/13	4/21	6/24	202	961	17.2	1.18	15.1	2.5
	11月上旬	82	30	5/25	5/30	6/13	208	1001	17.7	0.89	19.9	3.0
	自然夏実	33	14	7/1	7/6	7/13	—	1502	17.4	0.70	25.3	4.0
サマーゴールド	10月上旬	91	37	4/28	5/9	5/18	219	898	18.1	1.10	19.5	2.5
	11月上旬	91	34	6/10	6/16	6/24	226	850	17.4	0.85	22.9	3.3
	自然夏実	88	36	7/7	7/21	8/14	—	841	16.6	0.66	26.7	3.4
ジュリオスター	10月上旬	95	36	4/20	4/26	5/9	206	912	15.3	1.27	12.2	2.3
	11月上旬	95	36	5/27	6/5	7/2	215	850	16.3	0.92	17.9	3.6
	自然夏実	56	24	6/5	7/4	7/16	—	1004	16.7	0.74	23.4	3.3
ソフトタッチ	10月上旬	93	38	4/20	4/25	5/7	206	916	16.4	1.09	15.6	2.1
	11月上旬	95	40	5/22	5/29	6/22	207	763	18.1	0.87	21.5	3.0
	自然夏実	88	37	6/17	7/6	7/22	—	952	16.0	0.70	23.0	3.1
ボゴール	10月上旬	98	40	4/21	5/3	5/12	214	990	19.1	1.26	15.8	3.1
	11月上旬	95	39	5/27	6/4	6/11	214	811	19.7	0.81	25.1	3.5
	自然夏実	93	36	6/12	6/27	7/10	—	941	19.6	0.64	32.0	3.2
沖農P17 (2015年のみ)	10月上旬	95	19	5/11	5/20	5/27	230	955	20.6	0.92	22.7	2.8
	11月上旬	68	15	6/22	7/11	8/10	249	1312	20.0	0.77	26.5	3.7
	自然夏実	73	16	7/24	8/3	8/11	—	1400	19.8	0.71	28.3	3.9

※収穫果の品質として、糖酸比18.0以上かつ食味点数3.0以上を高品質基準とした。網掛けは高品質果実基準を満たす部分である。

1) 食味点数は、5: 良い、4: やや良い、3: 普通、2: やや悪い、1: 悪いで評価を行った。

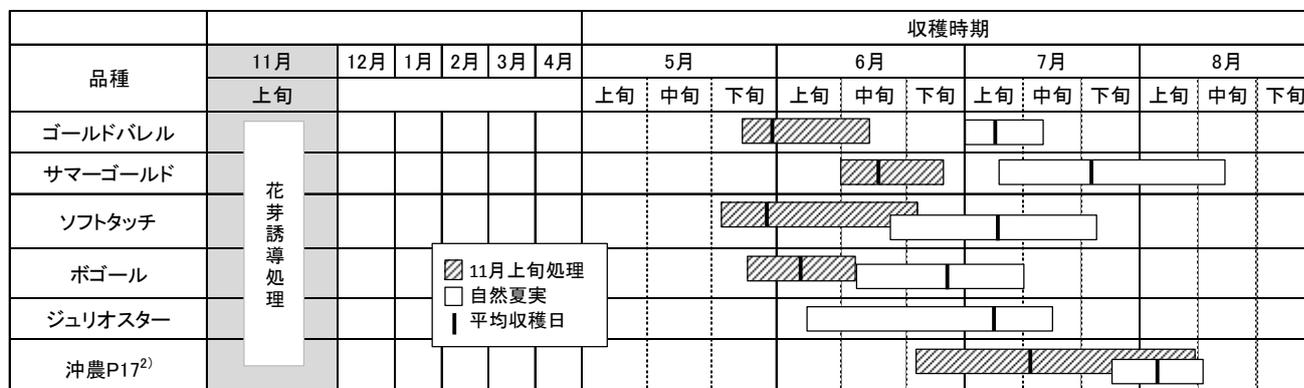


図. 高品質果実<sup>1)</sup>が得られる各品種の収穫時期

1) 高品質果実の基準値は糖酸比18.0以上、食味点数3.0以上である。

2) 沖農P17は2015年度のみ結果を示した。

[その他]

課題 I D : 2013 農 003

研究課題名: 気候変動対応型果樹農業技術開発事業

予算区分: その他(沖縄振興特別推進交付金事業)

研究期間(事業全体の期間): 2014~2015年度(2013~2018年度)

研究担当者: 伊礼彩夏、伊地良太郎、與座一文

発表論文等: 伊礼彩夏ら(2016) 沖縄農業研究会 2016年度大会口頭発表